

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	久宝寺・IT本社屋(工場棟)新築工	階数	地上3F、地下0F
建設地	大阪府八尾市神武町	構造	S造
用途地域	工場専用地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年7月5日
敷地面積	4,536㎡	作成者	高松建設株式会社大阪本店一級建築士事務所
建築面積	3,329㎡	確認日	2023年7月5日
延床面積	5,218㎡	確認者	高松建設株式会社大阪本店一級建築士事務所 中村 直史



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府八尾市に建設される工場の計画である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能T-2、天井・壁・床のうち二面に吸音材を採用するなど、音環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を設け、良好な景観の形成に努めた。
LR1 エネルギー	一次エネルギー消費性能の向上に努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を参照値以下とし、地球温暖化抑制に配慮した。
Q2 サービス性能	仕上材・構造材を痛めず更新・修繕できるOAフロアを採用し、対応性・更新性に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	省水型機器を採用し、水資源保護に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0039

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	久宝寺・T社本社屋(工場棟)新築工事						
		建設地	大阪府八尾市神武町						
		用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+			
①	CO2削減					5			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					4			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
		エネルギー消費量の報告							
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.5	5		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.2	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									